

## [12] 初めて診る病に出会ったら

### (1) 基本的に

- ① 習ったことのない病・症状も鍼灸なら治療可能→当たり前のことを当たり前にする
- ② 丁寧に診察する
  1. 患者さんの訴えを丁寧に聞く
  2. 全身視診触診などして、古いツボ、大きな歪みを探す
    - i. 急性症状：どの辺りで邪気が（一番）蠢（うごめ）いているか（器質性病変には注意！）
    - ii. 慢性症状：腹の邪毒のうち何が（一番）関係しているか
  3. 診察結果同士に矛盾が無いか、関係する情報を患者さんに追加質問する
    - i. 古い病や古い打撲捻挫などとの関係：昔の病歴を聞く（手術歴も）
    - ii. 仕事特有の姿勢や動作はじめ環境面との関係
- ③ 標準治療や症例を調べる
  1. 標準的な現代医学治療を調べる
  2. 鍼灸中心に伝統医学的な治療の症例を調べる\*. 症例報告や症例相談をする仲間を作る（メーリングリスト,FBグループなど）

### (2) ツボの出やすい所

- ① 慢性的症状
  1. 古いツボ、古い病・打撲などに関係するツボ、体の大きな歪み（腹、脹脛、首に出やすい、上腕大腿の陰経側に出ていることもある）
  2. 1.と経絡的相関や横輪切り相関で関係する所
  3. 症状の出ている所との連動、血行、神経伝達で関係する所\*. 心の問題が関係していそうなら、それに関係するツボが出やすい所
- ② 急性症状
  1. 邪気が蠢いている所と経絡的に関係する所、特に手首足首から先
  2.                   "                   横輪切り相関で関係する所、特に背中側

### (3) 手順

- ① 少しでも辛さを減らす：運動器系応急処置、内科系急性期の処置など（先急）
- ② 腹を中心に全身を整える：慢性期の型+灸や灸頭鍼（後緩）

### (4) 伝統医学は病人治療

- ① 目の前の患者さんのその時の体の状態に合わせて治療する
  - ・自然則に基づき、目の前の体の状態にピッタリ合った治療ができるよう腕を磨く
- ② 今までの自然則と目の前の体の状態が違ったら、目の前の体の状態に合わせる
  - ・新しい発見のチャンス
  - 丁寧に観察し考察し、今までの自然則を改善したり、新しい自然則を見付ける
  - 仲間を作り、新しい発見を伝え合う